

# 高美湿地の危機

知名度が高い高美湿地は、湿地の綺麗な景色と囲まれるも、生態の危機に隠れていて、湿地が陸地化する危機、外来種であるスパルティナ・アルテルニフロラ侵入と防水用道路でカニが死亡問題。

## 湿地の陸地化

台中港北岸で砂堤防の突堤効果は現在の湿地となりました、その同時に高美第二堤防は斜角で築いた上、潮流の影響で廃棄物や堆積物が堆積しやすいため、湿地の陸地化も加速しています。イセウキヤガラ(雲林莞草)は耐塩性と耐湿性があるため、沿岸の砂地を固定するメリットがあります。しかしながら、湿地の陸地化問題が深刻になるため、陸上の生息地に適した他の植物が湿地に侵入してしまいました。

1997年以降、イセウキヤガラ成長範囲は、高美第一堤防と番仔寮堤防から堤防外へ後退しています。第二堤防外側のイセウキヤガラは、陸地化のせいで徐々に西側と南側に移動しましたが、高美湿地のイセウキヤガラの成長範囲が圧縮される状況が厳しくなる一方だ。

## 世界の侵略的外来種

もう一つ海浜植物であるスパルティナ・アルテルニフロラは世界の侵略的外来種として認識されています。スパルティナ・アルテルニフロラは種子だけでなく断片からでも増殖し、いったん根付くと根絶が難しく、地元の植物であるイセウキヤガラとアシの成長スペースを制限します。根を地下に深く張る特性で、干潟の土壌硬化を引き起こします。干潟を陸にしてしまうと、生物多様性が減少して、砂地の底生生物構成と生物多様性、および水鳥の群れもスパルティナ・アルテルニフロラのような植物の侵入によって変化を起こしています。

2007年に高美湿地への侵入以来、スパルティナ・アルテルニフロラの群れは急速に拡大し、2016年に面積が初めて3ヘクタールを超えました。この現象は地元の湿地生態系と生物多様性に対する脅威となっています。根絶する最適な時期は侵入の初期段階でできる限りに駆除することです。市役所も計画的にスパルティナ・アルテルニフロラを根絶する対策を実施しており、野生動物保護区の経営管理の範囲内で、保護区の生物多様性をできる限り確保することが期待されています。

## カニの生存危機

高美湿地の近くの道と堤防の形のせいで、カニが堤防を越えて砂地に入って放卵することが出来なく、逆に防水用道路に閉じ込められて、更に高美湿地から離れる車にはねられてしまいました。その故に湿地周辺のカニが車にはねられ死亡問題が非常に深刻だった。

カニが海へ放卵するタイミングはおおよそ夏の陰暦の満潮新月と満月の3日後です。車にはねられ死亡のホットスポットは高美湿地の北側にある番仔寮堤防に集中しており、毎晩平均50%近い放卵する雌のカニが車にはねられることとアリの攻撃より死亡してしまいました。保護区を設立する目的を果たすために、湿地周辺の動線と堤防の設計を再検討し、環境に優しい改善プロジェクトを立つ必要があります。

## 交通案内と天気情報

### 🚗 アクセス

#### バスでのご案内 🚌

- 1 鉄道で「清水駅」下車、高美湿地行きのバス(178路、179路)に乗り
- 2 台中駅からバス(309路)に乗り換え、「高美湿地(三順路)バス停」下車、徒歩で20分(2キロ)
- 3 (休日限定)台湾新幹線台中駅(または鉄道烏日駅)でバス(655路)に乗り換え、「高美湿地観光客サービスセンター」駅で下車、徒歩で20分(2キロ)

その他の路線とシフト情報については、台中市バス路線検索ページまでご覧ください。(http://citybus.taichung.gov.tw/ibus/Transport.aspx)

#### 🚗 自家用車

- 1 国道3号→中港システムインターチェンジ→国道4号→清水端インターチェンジで降りる→台17線→三順路→高美湿地への指示に従って進む
- 2 国道1号→中港インターチェンジで降りる→台湾大道(台12線)沙鹿方面へ行く→台61線→高美湿地への指示に従って進む

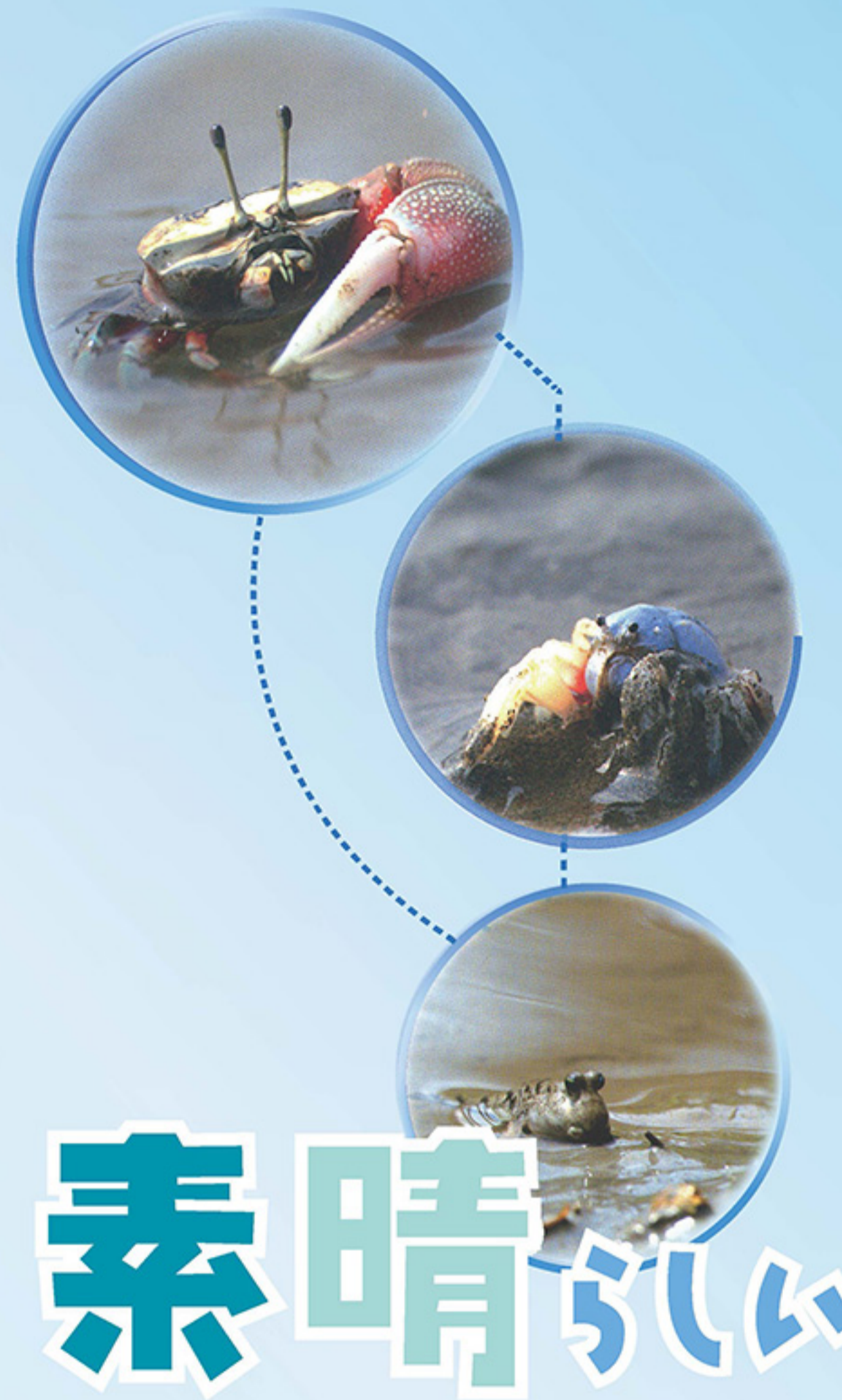
高美湿地観光客サービスセンターの駐車場の南側にある駐車場がありまして、合計約800台駐車スペースがあります。

### 🌊 潮汐情報

当日または次の30日間の潮汐情報については、台湾中央気象庁グローバルページまでご覧ください。漁業気象予報中の場所が梧棲を選択してください。安全のため、低潮の際の前後に3時間に行く方がお勧めです。

検索ページ:

http://www.cwb.gov.tw/V7/forecast/fishery/tide\_1.htm



# 素晴らしい

## 高美湿地

### 高美湿地生態地図 GAOMEI WETLAND

# 高美湿地 ご案内



高美湿地(コウビシッチ)は大甲溪河口の河口に位置します、草原系の沿岸湿地です。イセウキヤガラ(雲林莞草)は代表的な水生植物。台中港北方に砂堤防を築くと土砂の沈殿速度が加速し、高美湿地が形成されました。生息地の種類が多いため高美湿地にはさまざまな動植物が育ち、集まります。生物多様性はとても豊かなことと言えます。渡り鳥の移動する中継点にもなります、重要なのが場所に生息するです。



地元の湿地生態系の保全に基づき、行政院農業委員会は2004年9月29日に高美湿地を「高美野生動物保護区」として設立することを承認して発表しました。野生動物保護法によると、保護地域では、野生動物の捕獲と植物の伐採は禁止されています。2007年12月19日、内政部營建署は高美湿地を国家級湿地へ編入しました。2012年6月22日より、台中市政府は高美湿地ゾーンコントロールの実施を発表しました。ゾーン制御は、コアゾーン、バッファゾーン、および永続的な使用ゾーンの3つのゾーンに分割されます。観光客はコアゾーンとバッファゾーンに入ることは禁止されています。管制地域に入り込むと規制に従ってNT 50,000~NT 250,000の罰金を科すことができます。



臺中市政府農業局  
臺中市海岸資源漁業發展所

# 生態地図

## 1 高美灯塔、台中(タイチュウ)公立清水(チンスイ)幼稚園高西分校

高美灯塔は1967年に建設されました。その目的は、西海岸間を航行する船舶のニーズを満たすためである。桃園白沙岬灯台と澎湖目斗嶼灯台の間に明りの不足を補うための問題に。15年運用した後、彰化県(ショウカケン)の芳苑王功灯台との距離が近すぎるため、そのランプを取り除き、新たに、台中港灯台建て直した。赤と白の高美灯台は、初期の頃はでは、大甲区(タイガウク)、梧棲区(ゴセイク)、沙鹿区(シャロク)、清水区(チンスイ)この四つ大陸山麓海岸都重要な町のランドマークとなっておりますが、いまこの赤い白色の高美灯台と隣の西式城堡建物の台中公立清水幼稚園高西分校、高美湿地が有名な象徴場所となっております。

## 2 高美堤防

高美湿地の周辺は北から南まで番仔寮(ファンズーリヤオ)堤防、高美第一堤防および高美第二堤防に分かれています。

## 3 高美湿地観光客サービスセンター、高美双曲景観橋

高美湿地観光客サービスセンターは二階建てのRC鋼複合構造建物、高美湿地の南側に位置する。高美双曲景観橋は2016年に工事完成し、高美湿地の南側に位置し、清水大排水口の処にあります。

## 4 高美湿地木栈道

2014年に建設され全長は691メートルです。高美湿地木栈道解説半島から高美野生動物保護区のコアゾーン、バッファゾーン、および永続的な使用ゾーンのまで、浜辺を直接踏みつけずに、観光客が浜辺の動植物の干渉を減らすことが期待されます。

## 5 ベトナム戦争米軍戦争備品のオイルパイプ

ベトナム戦争時期、米軍タンカーは高美外の海で止まって、大型の運送パイプでオイルを高美加圧ステーションまでに運ばれ、そして大甲堤防の端この道路に沿ってパイプをおろし、そして東から客荘まで送り、また山に登り楊厝里の大楊オイルデポに保管する。

## 6 風力タービン

高美湿地の南側にある環港北道の隣に18台の風力タービンが建設され、「風車通り」が形成されました。各ユニットの高さは約64メートルで、重量は5.7メートルトンです。1996年に18台の風力タービンが運転を開始し、理論的には36,000 kWhの電力を生成できます。



## 鳥類

- 7. 小白鷺 コサギ
- 8. 大白鷺 ダイサギ
- 9. 黒面琵鷺 クロツラヘラサギ
- 10. 青足鵞 アオアシシギ
- 11. 紅冠水鶏 バン
- 12. 黒翅鳶 カタグロトビ
- 13. 褐頭鷓鴣 マミハウチワドリ
- 14. 東方環頸鶴 シロチドリ
- 15. 小燕鷗 コアシサシ
- 16. 魚鷹 ミサゴ
- 17. 赤足鵞 アカアシシギ



## 甲殻類

- 18. 雙扇股窗蟹 フタマドコメツキガニ
- 19. 斯氏沙蟹 スナガニ
- 20. 臺灣厚蟹 タイワンアシハラガニ
- 21. 斑點擬相手蟹 カクベンケイガニ
- 22. 凶狠圓軸蟹 ミナミオカガニ
- 23. 角眼沙蟹 ツノメガニ
- 24. 短指和尚蟹 ミナミコメツキガニ
- 25. 短身大眼蟹 オサガニ
- 26. 弧邊管招潮蟹 シオマネキ
- 27. 乳白南方招潮蟹 ハクセンシオマネキ
- 28. 臺灣早招潮蟹 タイワンシオマネキ
- 29. 勝利黎明蟹 キンセンガニ



## 魚類

- 30. 跳彈塗魚 トビハゼ
- 31. 大彈塗魚 ムツゴロウ



## 植物

- 32. 水筆仔 メヒルギ
- 33. 扁稈蘆草(雲林莞草) イセウキヤガラ
- 34. 互花米草 スパルティナ・アルテルニフロラ
- 35. 中華結縷草 コオニシバ

